

5月の需給・価格動向

1. 主要外材入出荷在庫量

		入荷量	出荷量	在庫量
米材	丸太	→	→	→
	製材品	↗	↗	→
北洋材	丸太	→	→	↘
南洋材	丸太	→	→	→
	製材品	→	↘	↘

矢印の表示は本月に対する翌月の動向を、下記のように示したものである。

- ↑ 急増・急上昇
- ↗ 増加・上昇
- 横ばい
- ↘ 減少・低下
- ↓ 急減・急落

2. 合板供給量

国内製造量	輸入量		
	計	インドネシア	マレーシア
↗	→	→	↘

3. 価格動向

樹材種	形状	取引条件	樹種・寸法等	動向
国産材	丸太	卸売価格 (北関東、県内産 市場土場渡し)	スギ柱材(3m) 2等	→
			スギ中丸太(3.65m) 2等	→
			ヒノキ柱材(3m) 2等	→
			ヒノキ中丸太(4m) 2等	→
	製材品 (関東近県産 板は東北産)	首都圏・市売り 価格	スギ柱角 10.5×10.5×3m 特等	→
			スギ柱角 12.0×12.0×3m 特等	→
			スギ柱(KD) 12.0×12.0×3m 特等	→
			スギ加工板 1.3×18.0×3.65m 特等	→
			スギ間柱 10.5×3.0×3m 特等	→
		スギタルキ3.0×4.0×4m	→	
		ヒノキ柱角(KD) 12.0×12.0×3m 特等	→	
		ヒノキ土台角 12.0×12.0×4m 特等	→	
米材	丸太	産地価格	米マツ ISタイプ	↗
		国内卸売価格 (京浜・オントラ)	米マツ カスケード(カナダ産)	↗
			米マツ ISタイプ コースト	↗
	製材品 (カナダ産・ 現地挽き) (国内挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	米ツガ桁角(KD) Std&Btr S4S 10.5×10.5×4m	↗
			米マツ桁角(GR) Std&Btr S4S 4・1/8'' 13'	↗
			米ヒバ土台角(GR) Std&Btr 4・13/16'' 13'	→
		米マツ平角(KD) 特等 10.5×24.0×4m	→	
南洋材	丸太	産地価格	メランティレギュラー	→
		東京・水面筏 渡し価格	メランティレギュラー 60cm上、4m上 製材用	→
		メランティレギュラー 60cm上、4m上 合板用	→	
	製材品	産地価格	ホワイトセラヤ 平割(サバ州産)	→
	東京・問屋店頭 渡し価格	同上2.4cm×込み×4m 定尺1等	→	
北洋材	製材品	国内卸売価格 (東京問屋着値)	エゾマツ(3.0×4.0×3.8m) 特等	↗
			アカマツ(3.0×4.0×4m) 特等	↗
			カラマツ(10.5×10.5×4m) 特等	→
欧州材	製材品 (現地挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 間柱 2.7×10.5×3m S4S FOHC	↗
			ホワイトウッド ラミナ 2.4×11.0×3m上 ラフ乱尺	→
集成材	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 無化粧 JAS 5プライ	↗
			スギ 無化粧	→
	欧州産	〃	10.5×10.5×2.98m	↗
合板	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	タイプ2 F☆☆☆☆ 2.3mm厚 3×6	↗
			タイプ2 F☆☆☆☆ 4.0mm厚 3×6	↗
			型枠 12.0mm厚 3×6	↗
			針葉樹構造用 12.0mm 3×6 F☆☆☆☆	↗

平成 25 年 5 月 17 日

5 月の木材価格・需給動向

1. 国産材(北関東)

栃木の丸太は順調な生産が続き入荷は平年並。荷動きはスギ柱材・中目材とも落ち着いた引合が続く。ヒノキは全般に引合良好で、土台取が好調堅持。この時期例年価格が下落するが、今年は輸入材の高騰と順調な住宅着工で市況は全般に横這推移。スギは柱材・中目材とも保合から弱保合。ヒノキは柱材が横這、中目材は強保合から保合。群馬の製材工場の操業状況は低調。原木の入荷は特に問題ないが受注・販売が低調。県補助事業の 4 月申込は前年対比 27%アップだが、製品の荷動は鈍い。スギ原木は柱材・中目材とも価格下落、出材はこの時期にしては多い。

2. 米材

3 月の米国新設住宅着工は、前月比 7.0%増の年率 103.6 万戸で、前年同月比で 46.7%の大幅増。米国丸太価格は地場製材所の需要が引続き旺盛で保合続く。カナダ丸太は日本向け米マツがタイトで強含み。産地の港頭在庫は、入・出荷ともバランスがとれ、前月末と同水準。ウェアハウザー社の 5 月積み米マツ IS ソートは前月価格据置き。米材丸太の入・出荷、在庫とも横這。国内大型港湾製材工場の荷動は引続き好調、KD 材を中心に値上も順調。内陸部製材工場の荷動は低調で当用買が続く。製材品の TLT(東京木材埠頭) 4 月入荷量は 89.4 千³m で、前月比 17%増。出荷量は 81.2 千³m で同 7%増、在庫は同 7%増。産地情勢は天候悪化で建設工事が停滞し、現地在庫が増。中国向け製品輸出量に変化無いが、一部中堅・小手メーカーは 4 月以降急激に輸出量が減っているとの情報。産地価格は、4 月末現在 3 週連続下落。対日向け米材製品はオファーが来るたびに値上げ傾向続いている。4 月の荷動は引合い少なく静かなスタートとなったが、5 月連休明けから荷動期待。

3. 南洋材

サバは、欧州市場低迷の長期化、日本等からの引合低迷、総選挙などの要因で出材が減少し、ここに来て製品価格は下止まりから上昇に転じた。サラワクは大手原木業者の強気の姿勢変わらず、原木価格は更なる上げ基調。日本側は為

替と国内市況の様子を見ながら、慎重な姿勢で綱引を続けているが、ジリジリと値上りとなっている。PNG・ソロモンは悪天候が続き、出材低迷から原木価格は強含み。南洋材丸太の入・出荷、在庫は横這。原木の販売は合板用、製材用とも変わらず。製材品は集成材・無垢平割類ともに入荷悪く品薄状態。特に一等材は品薄感から堅調な動き。円安と現地の出材低迷から、価格は更に上がると思われる。

4. 北洋材

ロシア極東は気温上昇に伴い、冬山の伐採搬出に支障をきたしているエリアもあるが、日本、中国からの引合いも一服し、弱含みに動き出していたので、むしろ需給バランスの観点から見れば丁度良い状況。シベリア地方は輸出枠発給の混乱もようやく落ちつき、各シッパーからのアカマツ出荷も再開。まもなく冬山造材が終了するので、日本等の消費国は、十分な在庫を持たないまま夏場を迎えることになりそう。富山新港の4月丸太入荷量は4千 m^3 （エゾマツ3千 m^3 、アカマツ1千 m^3 ）、製品は12千 m^3 。価格動向は、丸太・製材品とも入荷減少で強含み続く。国内挽き製材品も原木・原版の入荷少なく値上り。荷動は丸太、製材品とも順調。在庫状況は1ヶ月位。国内製材工場の採算状況はエゾマツ、アカマツとも不採算。稼動状況は原木・原版の入荷減少で生産調整。

5. 合板

原料丸太のうち国産材は針葉樹合板の生産増から強含み。南洋材は雨季の影響で強含み。米材も現地の好景気により強含みの状態。3月の国内合板生産量23.1万 m^3 のうち、針葉樹合板は21.6万 m^3 でこの1年間で最高量。出荷量は21.8万 m^3 で出荷が生産を上回る状況が続く。在庫量は13.3万 m^3 まで減少。販売価格はそろそろ天井との見方もあったが、メーカー側はあくまで強気。今後の需要予測から強含の展開が続くと予想。国産針葉樹合板の価格は相変わらずジリ高で推移。4月の荷動はやや緩やかだったが、連休明け後の需要増への期待から厚物の出荷は好調。輸入合板は3月から荷動が一服し、ほとんどの流通は当用買いの状態、価格は現地事情や円安を背景に相変わらず強含み。先行き針葉樹合板は、木材利用ポイント制度の実施で厚物を中心に、また、生産アイテムのシフト次第では全体的な玉不足も予想される。輸入合板の先高感あるものの、実需が待たれる状況。流通在庫は針葉樹合板では厚物で若干の玉不足。輸入合板の流通在庫はほぼ潤沢。3月の輸入合板入荷量は31.8万 m^3 と高水準。うち原木事情が厳しいマレーシアから15.3万 m^3 を占め不透明。港頭在庫は関東の各港とも出荷より入荷多く、倉庫はキャパ一杯の状態の一部は外部倉庫に委託。

6. 構造用集成材

原料は順調に入港。現地の原木状況も問題なし。価格は上昇基調変わらず、6月からは2ndのラミナが入港することから、更に上昇する見込。国産集成材の受注、販売・荷動き、先行きともに良好。在庫は横這。輸入集成材は、4～6月積みが決まり、現地での船積みが始まる。輸入梁で65,000円/m³付近の着ベースになるもの多い。集成材梁の価格上昇は一服気味。7月以降の価格は、3rd契約分の輸入集成材価格によるが若干の上昇が予想される。

7. 市売問屋

国産材の構造材は、スギ10.5cm、12.0cm角柱材が、産地からの入荷薄により、荷動きは堅調。スギ間柱の動きも良い。造作材は、例年この時期一服感のある秋田スギ、吉野スギの建具用桁平の引合い増。外材の構造材は、米マツ内地挽き梁材の引合いが増。米ツガ注入土台、米ヒバ土台角の動き良い。造作材はスプルースの建築用、建具用の良材が依然入荷少なく、対応に苦慮。前月同様市場への来場者数は少し多くなっている。これは木材価格が円安等の影響から、強含みとなっているため、価格動向や入荷状況の様子見が主体。住宅着工増、木材ポイント、消費税駆込みと追風で大手住宅メーカーは過熱気味だが、地場工務店はそこまでは至らず、連休明けの動向を注視。

8. 小売

国産材の構造材はスギKD柱、小割、板割、ヒノキKD柱、土台いづれも保合。外材は米ツガKD平割、正角、ロシアアカマツ垂木、WW間柱、SPF2×4材すべて強含で推移。造作材はスプルー、ナラ、タモの平割良材少なく引続き強保合。WW、RW集成材は梁、柱とも強保合。合板は針葉樹、ラワンとも強保合。床板、フローアーは各メーカー一斉値上げ。プレカット工場の動向は価格が順次浸透し問題なし。見積りに多少の時間かかっているが納期に影響なし。急激な値上げで新築物件の見積りに苦慮。これ以上の値上げは新規物件の受注に危機感あり。